

決算委員会 会議録

日時 令和7年9月22日（月曜日） 午前9時55分～午前10時42分
場所 白杵庁舎2階 全員協議会室

出席委員の氏名

委員長 伊藤 淳 副委員長 匹田久美子 委員 平川 幸司
委員 甲斐 尊 委員 安東 鉄男 委員 芝田 英範
委員 河野 巧 委員 川辺 隆 委員 梅田 徳男
委員 広田 精治 委員 戸匹 映二 委員 奥田富美子
委員 匹田 郁 委員 武生 博明 委員 吉岡 勲
委員 牧 宣雄

オブザーバー

議長 内藤 康弘

欠席委員の氏名

（ な し ）

説明のため出席した者の職氏名

代表監査委員 竹内 誠治 監査委員（議会選出） 大塚 州章
上下水道課長 併 水道事業所長 村上 和 参事監併水道事業所参事監 日高 誠一郎
上下水道課課長代理 藤澤 貴宏 その他関係職員

出席した事務局職員の職氏名

局長 林 昌英 書記 小嶋 佳希 主幹 原 伸行 副主幹 工藤 真里子

傍聴者

（ な し ）

会議に付した事件及び審査結果

< 審査議案 >

番 号	件 名	審査結果
第51号	令和6年度白杵市水道事業会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第52号	令和6年度白杵市下水道事業会計歳入歳出決算の認定について	原案認定

午前9時55分 開議

○委員長（伊藤 淳）

ただいまから決算委員会を開催いたします。本日は傍聴の申し出がありました場合は、許可したいと思っておりますので、ご了承願います。

始めに、執行部より概要説明をお願いいたします。

◎上下水道課長（村上 和）

令和6年度臼杵市水道事業会計歳入歳出決算の認定並びに、令和6年度臼杵市下水道事業会計歳入歳出決算の認定にあたりまして、概要等を説明いたします。

全国的に地方公営企業におきましては、人口減少等に伴うサービス需要の減少や施設の老朽化による更新需要の増大など、年々、経営環境の厳しさが増えています。

このような中、本市における令和6年度の水道事業と下水道事業の決算におきましても厳しい経営状況となっており、収益的収入では、人口減少等による給水収益の減少傾向が続いており、収益的支出では、動力費、修繕費、委託料では物価高騰などの影響が大きく、水道事業は赤字決算となりました。

また、資本的収支では、企業債残高に留意しつつ、中長期的な視点に立った施設の改良・更新に取り組んだ結果、水道事業は資産の増加、下水道事業は資産の減少となっております。

以上が概要であります。今後も、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に努めながら、安心・安全でおいしい水の供給や水質環境の保全と雨水対策を推進していきたいと考えております。

なお、詳細につきましては、後ほど説明いたしますので、ご承認を賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（伊藤 淳）

ありがとうございました。執行部より概要説明が終わりました。

続きまして、監査委員から審査経過についての報告をお願いいたします。

◎代表監査委員（竹内誠治）

代表監査委員の竹内でございます。

監査委員を代表し、令和6年度臼杵市公営企業会計決算審査結果につきましてご説明いたします。

審査の結果、経営成績及び財政状況を表す財務諸表や付属書類等は、地方公営企業法に準拠して作成され、適正に処理されていることを確認いたしました。

なお、具体的な数値等については、決算審査意見書で詳しく申し述べておりますので、詳細な説明は省略させていただき、要点についてご説明いたします。

また、意見書の全容につきましては皆様のお手元のタブレットにお示ししておりますが、私の説明中、特にタブレットの意見書本文をご覧いただく必要はございませんので、ご留意ください。

まず、公営企業会計のうち水道事業会計の経営実績として、収益的収支について述べます。

消費税抜きの収益的収入の総額は、6億7,405万円であり、それに対する収益的費用の総額は、6億9,861万円で、差引2,456万円の損失が生じております。

次に、資本的収支について述べます。

消費税込みの資本的収入の総額5億4,898万円に対し、資本的支出の総額は、8億5,318万円で、差引3億420万円の不足が生じております。

この不足額に対する補填財源につきましては、過年度分損益勘定留保資金2億5,718万円、当年

度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額4,702万円で補填されています。

令和6年度の水道料金の収入状況は、収入済額が6億4,100万円となっており、収入率は91.46%で、前年度末の90.95%に比べて、0.51ポイントの改善が見られます。

また、令和7年度に繰り越す給水収益未収金につきましては、前年度末と比較して約210万円減少の5,945万円であることから、未収金等の減少に向けては今後も気を抜くことなく、取り組みの継続を要望するものであります。

以上、水道事業におきましては、今後とも白杵市水道事業経営戦略等の中長期的な計画に基づき、より一層、効率的かつ合理的な事業運営を図られるよう努めていただきたいと思います。

続きまして、公営企業会計のうち下水道事業会計の経営実績として、収益的収支について述べます。

消費税抜きの収益的収入の総額は、11億20万円で、それに対する収益的費用の総額も、11億20万円で、差引0円となっております。

次に、資本的収支について述べます。

消費税込みの資本的収入の総額7億757万円に対し、資本的支出の総額は、7億9,082万円で、差引8,325万円の不足が生じております。

この不足額に対する補填財源につきましては、過年度分損益勘定留保資金7,889万円、当年度分消費税及び地方消費税調整額436万円で補填されています。

令和6年度の下水道料金の収入状況は、収入済額が約3億1,513万円となっており、収入率は92.02%で、前年度末の91.66%に比べて、0.36ポイントの改善が見られます。また、令和7年度に繰り越す未収金につきましては、2,701万円であります。公平性、平等性の観点から今後も収入率向上に向け、一層の取り組みの継続を要望するものであります。

下水道事業におきましては、今後も、中長期的な計画に基づき、経営の健全化、施設管理の最適化に取り組み、効率的な事業推進と経営基盤の強化に向けた取り組みに努めていただきたいと思います。

水道事業、下水道事業ともに、適切で計画的な施設整備を行うとともに、より柔軟で効率的な運営に努められるよう、一層の努力を期待しています。

以上で、令和6年度公営企業会計決算審査に対する説明を終わります。

○委員長（伊藤 淳）

ありがとうございました。監査委員からの報告が終わりました。ここで監査委員は退席いたします。逐次休憩します。

午前10時05分 休憩

午前10時06分 再開

○委員長（伊藤 淳）

再開します。それではこれより委員会に付託を受けました議案2件につきまして、審査を行います。まず、第51号議案 令和6年度白杵市水道事業会計歳入歳出決算の認定についてを議題といたします。執行部の説明を求めます。

◎上下水道課長（村上 和）

（ 「令和6年度臼杵市水道事業決算書」に基づき説明 ）

○委員長（伊藤 淳）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は、挙手をもってお願いします。

○委員（河野 巧）

全国に比べたらいいという話がありましたが、まだちょっと不安があって、最終的に赤字になっている部分もあると思うんですけど、説明の中で、管路よりも施設が悪いから施設の方から着手していますという説明がありましたが、今後のことを考えた場合、余剰金がどんどん減り、最終的には料金の見直しをしないといけないのかなと思っています。実際、今後施設が良くなって管路を重点的に予算措置していく中で、今年決算を作るうえで料金の値上げについて話をした経過はありましたか。

◎上下水道課長（村上 和）

河野委員のご質問にお答えします。料金の改定の必要性については、経営戦略等将来的な収入の見込み等も考えながら、前からずっと検討は行っております。その取りかかりとして、まず、今の経営状況とこれからの見通しというところを考慮して、将来的な改定に向けては、今後金額の上げ幅とかいうことも含めて検討する必要があると思っています。今年新たに取り組んだこととしては、国交省の力を借り、どういったところから始めていくのがいいのかというところから指導をいただきながら一緒になって検討を行っています。11月にも会議を開催し、お互いの情報交換を行う予定です。

○委員（河野 巧）

今回支出が増えた部分で、物価上昇によりということですが、そうであれば多分料金も上がっていきたくらうなっているのは、市民も理解しやすいところだと思いますので、そこについては継続して検討をお願いしたいと思います。もう1点、決算の意見書の中にありましたが、流用制限科目というところで、職員給与費及び交際費については議会の議決を経なければ流用することができない経費と定められており、本年度は12月議会で職員給与費の減額補正を行っているという一文がありました。従いまして、職員の給料が減るのか、若しくは職員の給料の出し方として一般財源から出すようにしていくのか、その辺はどういう計画になっていますか。

◎上下水道課長（村上 和）

河野委員のご質問にお答えします。職員の給料は、料金収入で支払うということにしております。

○委員（河野 巧）

特別会計ということなので、その費用で賄っていると思います。そうすると経営が圧迫した場合、給料の支払いが難しくなり、その部署の方の給料が下がるのか、配置転換で一般財源としての給与として見直すようになると思います。本来はそうではなくて料金体系を見直して、そこで働く方が安定した収入を得るような経営にしていけないと思いますが、その辺について、内部で今年度検討したことがありますか。

◎上下水道課長（村上 和）

河野委員のご質問にお答えします。当然、経営の安定化に向けては料金の改定ということは必要なところがあるのかなと思っています。料金を上げるにしても、上げ幅とかいうことで、皆さんの理解をいただいたうえで改定をする必要があると思っています。そのため、まず見通しを立てることが一番かなと思いますが、それにあたっては、今我慢できるところの費用を抑えとかいうところも検討する必要があると思っていますので、抑えるところは抑えて、必要な部分は料金を見直して、経営を

安定させるというような考えのもとで料金と経営体制の安定化を図っていきたいと思います。従いまして、不足するから一般会計からとかいうところは難しいと思っています。

○委員長（伊藤 淳）

他にご質問はありませんか。

○委員（梅田 徳男）

料金回収率が下がっていますが、原因は何ですか。

◎上下水道課長（村上 和）

休憩をお願いします。

○委員長（伊藤 淳）

休憩します。

午前10時40分 休憩

午前10時41分 再開

○委員長（伊藤 淳）

再開します。

◎上下水道課課長代理（藤澤貴宏）

梅田委員のご質問にお答えします。これは分母と分子の関係で、1立方メートル水を作るのに、料金収入が据え置かれている中で、動力費などコストが上がってしまったために、約3ポイントほど上がったということになります。簡単に言うと回収率は、料金の徴収率ではなくて、1立方メートルの水を作るコストに対していくらお金が入ってきていますかという数字になりますので、動力費が上がるとどうしてもコストパフォーマンスという部分が悪くなります。

○委員長（伊藤 淳）

他にご質問はありませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（伊藤 淳）

ないようでしたら、これより討論にはいります。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（伊藤 淳）

以上で討論を終わります。これより採決を行います。第51号議案については、原案のとおり認定することにご異議ありませんか。

（ 「異議なし」の声 ）

○委員長（伊藤 淳）

ご異議なしと認めます。よって、第51号議案については、原案のとおり認定すべきものとして決しました。

それでは次に、第52号議案 令和6年度白杵市下水道事業会計歳入歳出決算の認定について を議題といたします。執行部の説明を求めます。

◎上下水道課参事監（日高誠一郎）

（ 「令和6年度白杵市下水道事業決算書」に基づき説明 ）

○委員長（伊藤 淳）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（伊藤 淳）

ないようでしたら、これより討論には入ります。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（伊藤 淳）

以上で討論を終わります。これより採決を行います。第52号議案については、原案のとおり認定することにご異議ありませんか。

（ 「異議なし」の声 ）

○委員長（伊藤 淳）

ご異議なしと認めます。よって、第52号議案については、原案のとおり認定すべきものとして決しました。これで上下水道課所管の議案の審査を終わります。ご苦労さまでした。

○委員長（伊藤 淳）

以上で、決算委員会を閉会いたします。

午前10時42分 閉会

白杵市議会委員会条例第30条第1項の規定により、ここに記録を作成する。

令和7年9月22日

白杵市議会

決算委員会委員長 伊藤 淳